

令和 5（2023）年度 卒業時アンケート集計結果総括

実施対象者：令和 6（2024）年 3 月 卒業者 104 名（2022 年度対象者 8 名除く）

回答者数 : 101 名

回収率 : 97.1%

令和 5 年度卒業時アンケートは、設問内容に関しては昨年度と同様であるが、回答率を維持することと集計の利便性の観点から、マークシートによる回答および回収から、Google Form を活用しての回収となった。回答に当たっては 4 年次必修科目のアカデミアゼミ D の授業内において教員より周知、QR コードを示したうえで授業内を中心に回収を実施した。

回答項目については以下の通りである。

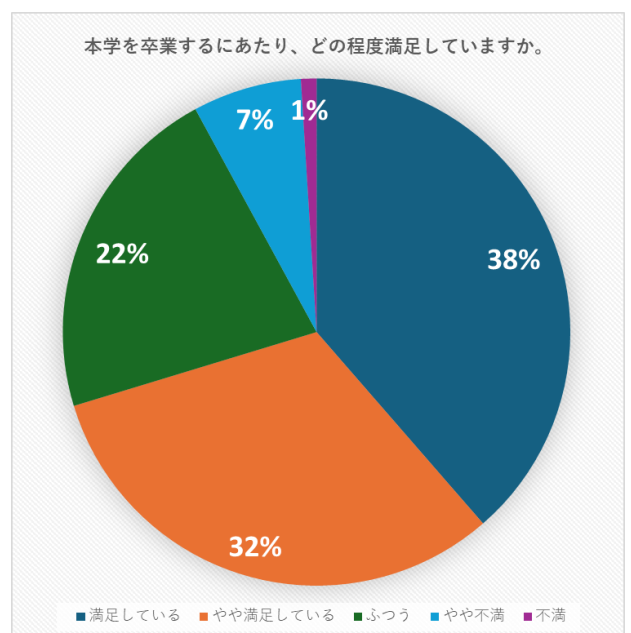
- ① 本学の満足度について
- ② 社会人基礎力の 12 の能力要素について
- ③ 身についた知識・教養について
- ④ 外国語運用能力について
- ⑤ アカデミアゼミの活動について
- ⑥ 教職課程について（教職課程履修者のみ）
- ⑦ 国際日本コースについて（留学生のみ）
- ⑧ 大学での学びや生活について
- ⑨ 学生寮について（学生寮利用者のみ）
- ⑩ 大学への意見・感想

当該年度の卒業生は 2020 年 4 月入学者であり、1 年次は入学当初から ZOOM と GoogleClassroom の活用によるオンライン授業が主体となっており、2 年次についてもオンライン授業を行っていた年次である。本学は全国的に見てもこれらの対応はスムーズにできていたが、学生生活を考慮すると、それぞれの項目について高い評価を得られない可能性があった。本アンケート総括では、それぞれの項目について簡単に振り返る。

① 本学の満足度について

右の図は本学を卒業するにあたりの満足度を示したグラフである。前述した通り、入学時からオンライン授業を余儀なくされた年次の学生たちであり、高い評価を得られない可能性もあった。しかしながら「満足している・やや満足している」を合計すると、70%の学生が満足しているという結果となった。

反して「不満・やや不満」と回答した学生は合計で 8%に留まる結果となり、概ね学生生活には満足していた学生が多かったことがわかる。



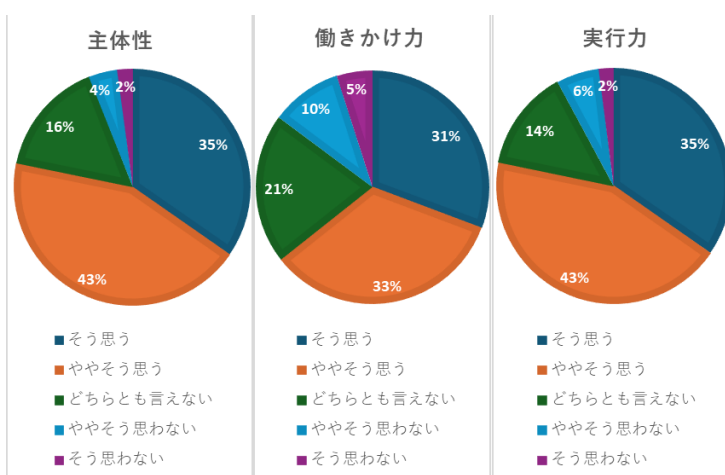
②社会人基礎力の12の能力要素について

ここでは社会人基礎力の示す「12の能力要素」のアンケート結果について、「3つの能力」に分けて振り返ることとする。

1, 前に踏み出す力の3項目

この能力の3つの要素については、主体性と実行力について評価が高いことがわかる。反して働き掛け力については苦手意識を持っている学生も多いようである。

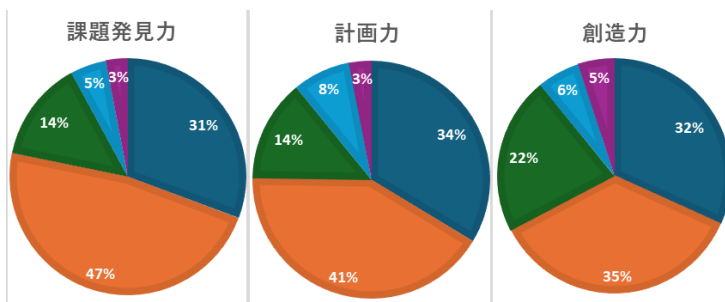
要因として考えられるのは、1年次と2年次のオンライン授業を実施していた関係もあり、なかなか交友関係が構築できなかった学生が多いのではないか？ということである。それに対して自分の力で何とかして学生生活を過ごそうという層が多かったのではないだろうか。



2, 考え抜く力の3項目

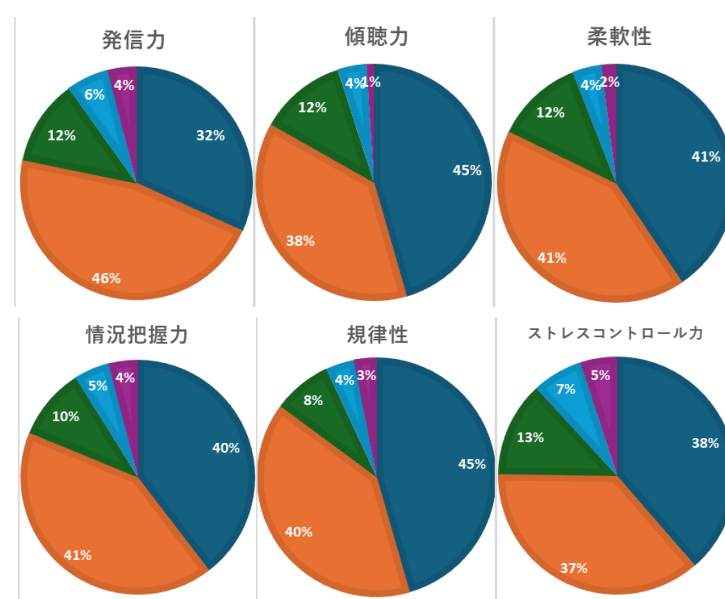
この能力の3つの要素については、課題発見力と計画力について評価が高いことがわかる。自身の学修について計画立てて取り組めた結果であり、課題解決プロジェクト等の取り組みの成果とも考えられる。

対して創造力については得意とまでは考えられていないのがわかる。



3, チームで働く力の6項目

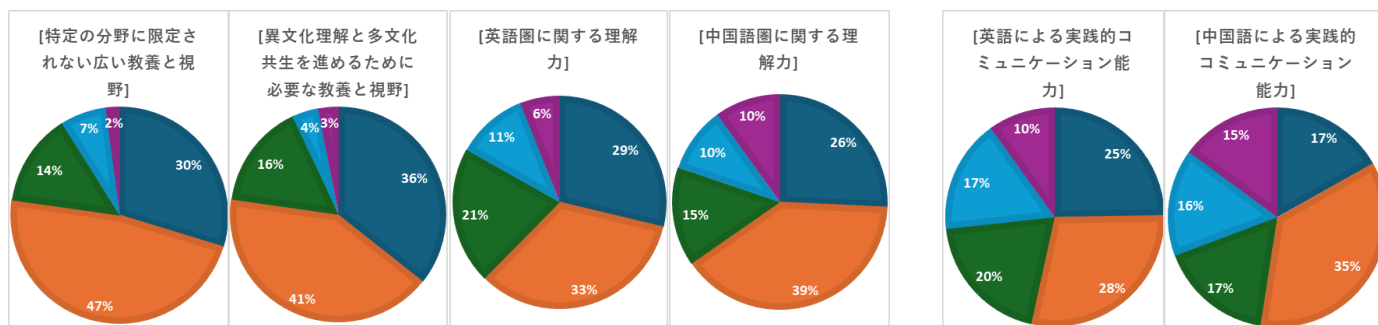
この能力の6つの要素については、聴くことや規律などの評価はかなり高い。それに対して発信力やストレスコントロールについて見てみると、得意であるとは考えていない傾向になった。



③身について知識・教養について、④外国語運用能力について

身について知識・教養について見てみると、「特定の分野に限定されない広い教養と視野」「異文化理解と多文化共生を進めるために必要な教養と視野」について、双方ともに77%の学生が「そう思う」「ややそう思う」と回答している。これらの結果については、留学生と日本人学生とがシームレスで授業を受けられる環境が作用しているものと考えられる。しかしながら、「英語圏に関する理解力」で62%、「中国語圏に関する理解力」で65%の学生が「そう思う」「ややそう思う」と回答しているにとどまっている。

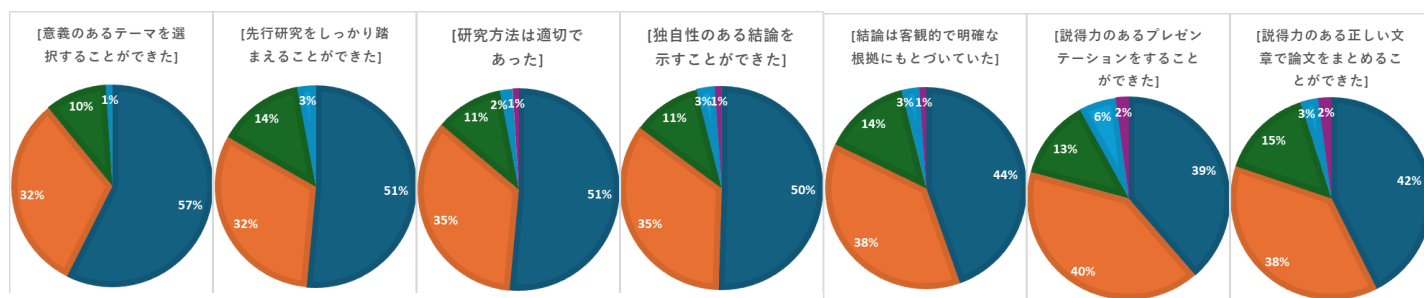
外国語運用能力については、「英語による実践的コミュニケーション」「中国語による実践的コミュニケーション」いずれも50%を少し超える学生のみが評価しており、文化や言語の理解と実際のコミュニケーションについての自信がリンクしていないことが分かる結果となった。



⑤アカデミアゼミの活動について

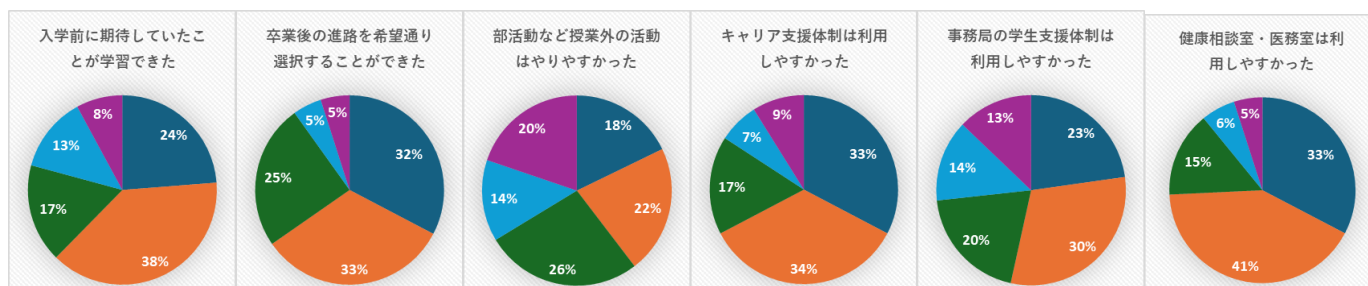
「意義のあるテーマ選定」「先行研究への対応」「研究方法の適切さ」「独自性のある結論の提示」の4点の質問に関しては、いずれも「そう思う」の回答が50%を上回った。特に「意義のあるテーマ選定」「先行研究への対応」については、「そう思わない」の回答が0%であり、研究テーマについて自身の納得できる選択が出来たものと考えられる。

「説得力のあるプレゼンテーション」について見てみると、「そう思う」「ややそう思う」の回答が79%あるのに対し、「そう思わない」「ややそう思わない」の回答が8%と最多である。社会人基礎力の項目でも言及した「発信力」について、やや苦手意識をもっていることとも関連がある者と考えられる。



⑧大学での学びや生活について

ここでは学修に対する期待、進路選択や学生生活について示すこととする。冒頭で述べたような環境に合ったにもかかわらず、期待通りの生活を送ることが出来たと考える学生が62%、進路についても65%の学生が概ね良好な評価をしている。事務局の支援体制に対する評価はまちまちであるが、キャリア支援体制と進路の満足度は相関関係がある程度あるようである。また医務室の利用は高い評価を受けていることが見て取れる。



⑩大学への意見・感想

【学修面の不満】

- ・もっと面白い科目を増加すればいいと思います
- ・欠席数3回というのもよくわからず、他大学と同様5回で統一するべきなんじゃないかと思った。
- ・中国語が必修である理由が結局わからなかった
- ・とにかく連絡が遅い。多くの学生が振り回されたと感じる4年間であった。
- ・コロナ禍によって、中国語圏に語学研修に行くことが出来なかったのは残念でした。
- ・全員留学ができるから選んだ大学なのに、コロナで中止となった中国への語学研修に対するフォローが何もなかったのが非常に残念
- ・全員留学ということで入学時に留学費用を支払ったはずですが、行かなかった人達に留学費用を返金するべきだと思った。
- ・留学生に対する生活マナーや授業態度をしっかりと指導するべきだと思う。ずっと授業中に母国語で会話をしていたりして不快だった。

【施設・運営面の不満】

- ・事務室の人がコロコロ変わるの、全員言ってることが違いました。それが大変でした。
- ・事務局の方の対応はもう少し見直す必要があると思います。特に、学生に対して冷たい態度や言い方をしているかと感じられる場面が4年間で何度もありました。
- ・大学4年生のときに受ける講義が1つしかないにも関わらず、施設を扱う金額が今までと同じなのは、疑問を感じました。
- ・事務局が全体的に利用しにくかった。
- ・就活における公欠が少なすぎ、貰える条件が厳しすぎと思った。
- ・年度によって学則・規定等が変わりすぎだと思った。
- ・施設利用はとてもではないが満足できない。事務局などの古いシステムを新しくした方が良いと考える。
- ・イルミネーションなど必要ない経費を、もっと学生に還元して欲しいと感じています。
- ・学食のメニュー増やしてください
- ・学食のメニューが少なくて高いと思った。
- ・トイレを全部洋式にしてください。
- ・中国語系のシステムが分かりにくかった。
- ・大学祭は小規模で残念だなと思った。
- ・コンビニと喫煙所ほしかった

【スクールバスについての不満】

- ・特定路線のスクールバスが極端に少なく、そういった面においては不便であると感じた。
- ・バスの運行は、帰りたい時間にバスがなく1時間以上待つことになるのをバスの本数を増やして、改善していただきたいです。
- ・バスをもっと的確な時間に出発させるべきかと思います。行事の時は特に不便に感じていました。
- ・バスの来る頻度が少なく、もう少し増やしてほしい。
- ・スクールバスの本数をもっと増やしてほしい。
- ・運転手が電車遅延してるの分かっているのに数分も待ってくれなかった。
- ・立地上仕方の無いことだとは思いますが、どうしても行き帰りに費やす気力が大学へ向かうことのハードルになっているように思います。自分はもういなくなるので、どうか後進の方々におけるハードルを下げられるようご配慮いただけますと幸いです。

【ポジティブな意見】

- ・就活を本格的に始める前にキャリアガイダンスのおかげで、知らなかった情報を知ることができたり、就活に対するモチベーションを上げていただけたので、とてもよかったです。
- ・自分の希望大学ではなかったが、入学して本当に勉強したかった言語や本当に身につきたいスキルや能力が全部大学でできてとても素晴らしかったです。これからも愛知文教大学の一つの存在としてより立派な存在や役に立つ存在になりますように大学で得たものを生かし、全力で頑張りたいと思います。愛知文教 大変お世話になりました。ありがとうございます。

- ・入学当初から卒業前までお世話になった大学教授、教員、職員の皆様には大変感謝しております。私の学年は入学当初からコロナ禍が被っていた為、語学研修が 3 年次になったり、他学年と比べると研修先が減っていたのが少し残念でしたがとても良い経験になりました。本当にありがとうございました。
- ・大変有意義な時間を過ごすことができました。ありがとうございました。
- ・大学で私の素晴らしい時間を過ごすことができ、一生に忘れられないです。これから社会人として大学での勉強したことをきっと生かします。愛知文教大学は私の青春です。
- ・教師や学友はとてもよくすごく楽しかった
- ・教員の方や事務の方からのサポートが感じられ、大きな不安を感じることなく生活を送ることが出来たと感じました。
- ・まずは、4 年間お世話になりました。ここでの学びはきっと社会に出る上で力になると思います。学業については様々な事が学べたことや、コロナ禍において迅速な対応などをして頂き快適に学べたかと思います。今後、愛知文教大学へ通う生徒がもっと学びやすい環境になるように願ってます。
- ・コロナ禍の中での入学となったため初年度の登校が難しく交流も少ないという難点を背負ったままの大学生活にはなったが、徐々に社会も安定し始めた段階で大学生活にも安心と安定が見られ、結果的には充実した大学生活となった。文教ならではの文学や知識が学べたことで新たな道も見つかり、多くの興味へと繋がる事が出来て非常に満足した 4 年間だと感じる。
- ・コロナの影響もあり、学祭やサークル活動に参加しにくかったので、今後はサークル活動や学祭に力を入れて、参加しやすい雰囲気づくりをすると、学生生活がより充実すると思う。
- ・最後の卒業研究が、自分のやりたいことが出来て楽しかった。
- ・サークルには参加しなかったものの、4 年間の時間を有意義に使い、経験を積んで得られたこともあったので、充実していたと思う。
- ・コロナのせいだったりで思ってた学生生活とは違ったけどそれなりに充実してて楽しかったです。
- ・4 年間楽しい学生生活を送ることができました。ありがとうございました。
- ・4 年間をかけて愛知文教大学を日本文化、多文化を理解し、日本語、英語を学習することがすごくできました。先生たちの優しさと講義しながら、日本に住んでいることを多く教われました。とっても感謝しています。そして、事務の先生たちの熱心を自分のキャリア支援を積極的にサポートしていただき本当にありがとうございました！愛知文教大学に入学してよかったです！ありがとうございます。

以上